

我が社における自主保安活動シリーズ

(第10回)

高圧ガス保安全国大会で会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害に係るより一層の保安確保の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所および販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、10月号では、優良製造所として、近畿酸素株式会社 本社工場 前川俊也様、優良販売業者として、岩谷産業株式会社 宇都宮支店 飯田 宏様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介いただきました。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- | | | | | |
|-----|-----------------------------------|----------------|-------|-------------|
| 第1回 | 我が社の保安安全活動（優良製造所編） | (株)サイサンガステクノ | 横山義巳 | Vol.56 No.1 |
| 第1回 | 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） | (株)サンワ | 田部井普 | Vol.56 No.1 |
| 第2回 | 我が社における保安管理活動（優良製造所編） | 上毛天然瓦斯工業(株) | 平石 誠 | Vol.56 No.2 |
| 第2回 | 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） | 紀伊国屋高圧(株) | 若林比呂之 | Vol.56 No.2 |
| 第3回 | 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編） | (株)クレハ | 小野佐市 | Vol.56 No.3 |
| 第3回 | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） | (株)須山液化ガス | 須山光男 | Vol.56 No.3 |
| 第4回 | 我が社における保安管理活動（優良製造所編） | 雪印メグミルク(株) | 田中秀和 | Vol.56 No.4 |
| 第4回 | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） | 十文字ガス(株) | 小関史郎 | Vol.56 No.4 |
| 第5回 | 我が社における保安管理活動（優良製造所編） | (株)ネリキ | 新栞裕之 | Vol.56 No.5 |
| 第5回 | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） | (株)西條プロパン | 辻田 隆 | Vol.56 No.5 |
| 第6回 | 高圧ガス容器製造事業所における自主保安活動の取組み（優良製造所編） | (株)関東高圧容器製作所 | 瀧澤史朗 | Vol.56 No.6 |
| 第6回 | 我が社における保安活動（優良販売業者編） | 昭和電工ガスプロダクツ(株) | 岡崎 徹 | Vol.56 No.6 |
| 第7回 | 我が社における災害への取組み（優良製造所編） | 江藤酸素(株) | 日下明宏 | Vol.56 No.7 |
| 第7回 | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） | (株)星医療酸器 | 鈴木省悟 | Vol.56 No.7 |
| 第8回 | 我が社における自主保安活動（優良製造所編） | (株)加地テック | 上田伊佐三 | Vol.56 No.8 |
| 第8回 | 我が社における保安活動（優良販売業者編） | (株)巴商会 | 小澤 正 | Vol.56 No.8 |
| 第9回 | 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編） | 九州エア・ウォーター(株) | 東 成政 | Vol.56 No.9 |
| 第9回 | 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） | 東海溶材(株) | 松下勝実 | Vol.56 No.9 |

我が社における自主保安活動(優良製造所編)

—保安レベルの維持向上への取組み—



近畿酸素株式会社 本社工場 工場長
前川 俊也

1 はじめに

近畿酸素株式会社は1989年の創業以来、地域で唯一の高圧ガス製造工場としてさまざまな分野で社会に貢献できるよう取り組んできました。酸素と水と環境をテーマとして、プロの厳しい要求に応える高圧ガスの供給や酸素を高圧ガス以外での有効活用できる事業の展開、また高度管理医療機器をはじめ在宅酸素療法等医療機器の販売・賃貸業も行っており、今日に至っている。

2 事業所沿革

- 1989年 近畿酸素株式会社を兵庫県多紀郡篠山町に設立
酸素・窒素製造・販売開始
- 1990年 新たに炭酸 CE 増設し炭酸ガスを製造・販売開始
- 2003年 本社を兵庫県西宮市山口町へ移転
株式会社酸気社の水産事業を継承
- 2014年 大丸エナウイン株式会社の連結子会社になる
- 2018年 本社を兵庫県篠山市へ移転
- 2019年 炭酸タンク(40t)を新たに増設、
製造・販売開始



写真1 近畿酸素(株)全景

3 施設概要

主力となる高圧ガス充填設備は、液体酸素タンク 30t 1基、液体窒素 10t 1基、液化炭酸ガス 10t 1基・40t 1基、計4基を据え付け充填を行っている。

充填ラインは、酸素は47/40L容器専用充填ライン 20本立て5列、10L以下専用充填ライン 30本立て2列、FRP専用移充填ラインは16本立て2列10本立て1列計52本を一度に充填可能で、LGC充填は2本立て2列である。

窒素はシリンダー専用15本立て4列、LGCは2本立て1列となっている。炭酸ガスは医療用・食添用炭酸専用2本切り替え1式、産業専用2本切り替え2式、LGCは1本立て1式となっている。

医療用酸素と液化炭酸ガスの製造、販売量



写真2 40t炭酸タンク

はガスディーラーとしては近畿圏ではトップクラスであり、それゆえ保安に対する意識の向上は必要不可欠である。

4 表彰履歴

2005年 兵庫県知事表彰受賞 優良事業所
2017年 高圧ガス保安協会会長表彰受賞
優良製造所 他

5 保安に対する考え方（保安レベルの維持向上への取組み）

保安活動に関して、高圧ガス保安法等携わる法律に順守し下記項目を重点項目として実施している。

(1) 部署内コミュニケーションの強化

各自報告・連絡・相談を密にとるようになるため、毎週金曜日13時よりミーティングを行い、日々の消耗品等注文の漏れまで部署内全員で互いに確認し、部署内すべての事案を共有するよう心がけている。

(2) 保安教育の強化

他の事業所も同様であるが、年間保安教育を立案月に1度保安教育講習を行っているが、なるべく多く外部から講師を招聘し実施している。また、外部講習にも積極的に参加させ、高圧ガス関連以外の安全や保安に関する講習にも参加させている。

(3) 親会社保安室との連携

親会社である大丸エナウィン株式会社の保安室との連携を密にとり、年1回保安室による保安査察を実施、行政以外の監査も定期的に行っている。また、社内防災訓練も来賓を迎え毎年1度災害のテーマを決めて実施、社内防災組織図をもとに隊長はじめ各班長以下隊員による通報・救護・消火・災害処置訓練を行い、訓練後持ち回りで災害に対する講和を1名ずつ発表し、災害に対する意識の向上を図っている。



写真3 防災訓練

(4) 設備の点検・交換等

設備の点検後、劣化や消耗による部品の交換（バルブ等）時必ず複数の部署員で行い、ベテラン社員が指導監督し部署内全員ができるよう心がけている。また、設備の消耗品の中でも受注生産の類の部品や消耗品はほぼ同等数予備品を確保し、まだ使用できそうであっても製造元の推奨年数等参考にして事前に交換するようにし、事故や故障を未然に防ぐよう心掛けている。

6 おわりに（今後の抱負）

近年地震や大雨など想定外の災害が毎年国内で発生しており、防災よりいかに災害を減

らすかという減災へと世の中は移行している状況にある。当社でも災害に向け減災に対する意識の向上に向け、今後の保安教育の中で取組む割合を増やしていく予定である。

一人ひとりが有事の際、何をすべきかを日々心がけることは大変難しいことではあるが、意識だけでも持っておくだけで行動が大きく変わってくると思われる。当社充填工場も稼働して30年が過ぎハード面での経年劣化している設備・機器等随時更新している。また、来年中には大掛かりな機器の更新や工場の改装を予定しており、充填の効率化や従事しやすい環境を保つことで、社員のモチベーションを維持することにより、また保安に対する意識の向上に繋がること期待している。

前川俊也（まえかわ としや）



©MPC